



UxMIDI Tools

ユーザーマニュアル V09

本製品をご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。ソフトウェアとファームウェアは継続的に更新されます。このマニュアルのすべての図とテキストは実際の状況とは異なる場合があります、参照用です。

著作権

2025 © CME PTE.株式会社。全著作権所有。CME の書面による同意なしに、このマニュアルの全部または一部をいかなる形式でもコピーすることはできません。CME は CME PTE の登録商標です。LTD.をシンガポールおよびその他の国に設立しました。その他の製品名、ブランド名は、各社の商標または登録商標です。

UxMIDI ツールソフトウェアをインストールする

<https://www.cme-pro.com/support/> にアクセスして、無料の UxMIDI ツール コンピュータソフトウェアをダウンロードしてください。MacOS、Windows 10/11、iOS、Android バージョンが含まれ、すべての CME USB MIDI デバイス(U2MIDI Pro、C2MIDI Pro、

U6MIDI Pro、U4MIDI WC など)用のソフトウェアツールであり、次の付加価値サービスを利用できます。

- CME USB MIDI デバイスのファームウェアをいつでもアップグレードして、最新の機能を利用できます。
- CME USB MIDI デバイスのルーティング、フィルタリング、マッピング、およびその他の操作を実行します。

注:UxMIDI Tools Pro は、32 ビット Windows システムをサポートしていません。

接続 とアップグレード

特定のモデルの CME USB MIDI 製品の USB-C クライアントポートを USB データケーブルでコンピューターに接続してください。ソフトウェアを開き、ソフトウェアがデバイスを自動的に認識するのを待ってから、デバイスのセットアップを開始します。

**注:一部の USB ケーブルは充電にのみ使用でき、データを転送することはできません。お使いの USB ケーブルがデータ転送に使用できるかご確認ください。*

ソフトウェア画面の下部には、モデル名、ファームウェアバージョン、製品シリアル番号、および製品のソフトウェアバージョンが表示されます。現在、UxMIDI Tools ソフトウェアでサポートされている製品には、U2MIDI Pro、C2MIDI Pro、U6MIDI Pro、U4MIDI WC が含まれます。

U6MIDI Pro
Firmware: V5.8
Serial: 002A9702045884740000593D
Activated

View full settings

Preset 1

Reset all to factory defaults

Load

Save

Version 7.4

CME
Always On Stage Ahead

CME サーバのバージョンが、接続されたデバイスの組み込みファームウェアよりも高いバージョンであることがソフトウェアによって検出された場合、ソフトウェアはポップアップウィンドウを通じてアップグレードするように促します。「はい、アップグレードします」ボタンをクリックすると、ソフトウェアが自動的に最新のファームウェアをダウンロードして、接続されたデバイスにインストールします。アップグレードが完了すると、ソフトウェアは、デバイスを再接続して最新のファームウェアを有効にするようにユーザーに求めます。

MIDI Filter

MIDI Mapper

MIDI Router

Firmware

Settings

USB In 1

USB In 2

USB In 3

MIDI 1

MIDI 2

MIDI 3

USB In 2

USB Out 2

USB Out 3

t 1

t 2

t 3

New firmware available
A new firmware is available (Version 5.8) for the connected product
Would you like to upgrade your product (current firmware is V5.6) ?
Changes log:

- Added global channel updates in mapper
- Added filtering of specific MIDI messages in mapper
- Requires UxMIDI Tools v7.3 (iOS and Android versions also released)

No

Yes, upgrade

U6MIDI Pro
Firmware: V5.6
Serial: 002A9702045884740000593D
Activated

View full settings

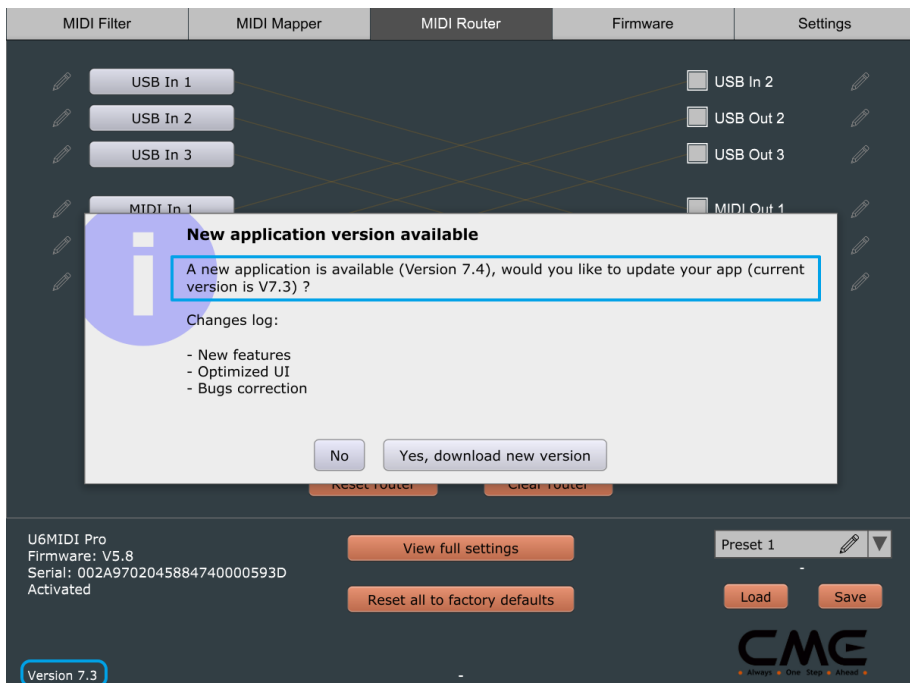
Preset 1

Reset all to factory defaults

Load

Save

ソフトウェアのバージョンが製品の最新のファームウェアバージョンと一致しない場合、ソフトウェアはポップアップウィンドウでアップグレードするように求めます。「はい、新しいバージョンをダウンロードします」ボタンをクリックして最新バージョンのソフトウェアをダウンロードし、ダウンロードしたファイルを解凍してインストールすると、ソフトウェアの更新が完了します。

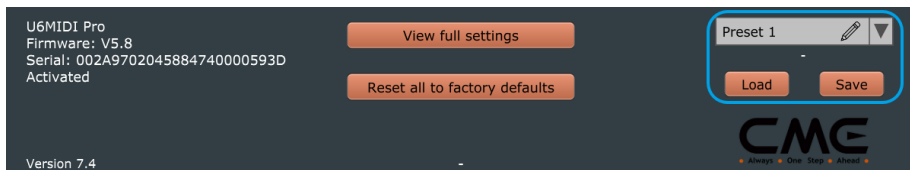


*注: コンピューターがインターネットに接続されていることを確認してください。

- **[プリセット]:** フィルター、マッパー、ルーターなどのカスタム設定を CME USB MIDI デバイスに[プリセット]として保存して、スタンドアロンで使用できます(電源を切った後でも)。カス

タムプリセット付きの CME デバイスをコンピュータの USB ポートに接続し、UxMIDI ツールで選択すると、ソフトウェアは自動的にデバイスのすべての設定とステータスを読み取り、ソフトウェアインターフェイスに表示します。

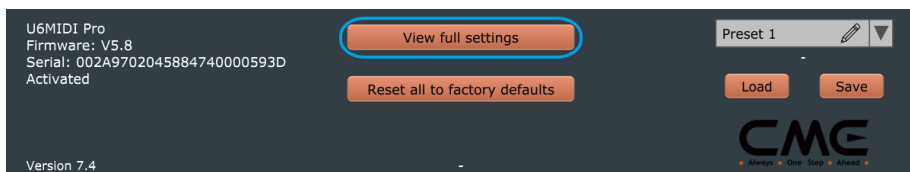
***注:U2MIDI Pro(ボタンなし)と C2MIDI Pro には 2 つのプリセットがあり、U6MIDI Pro と U4MIDI WC には 4 つのプリセットがあります。**

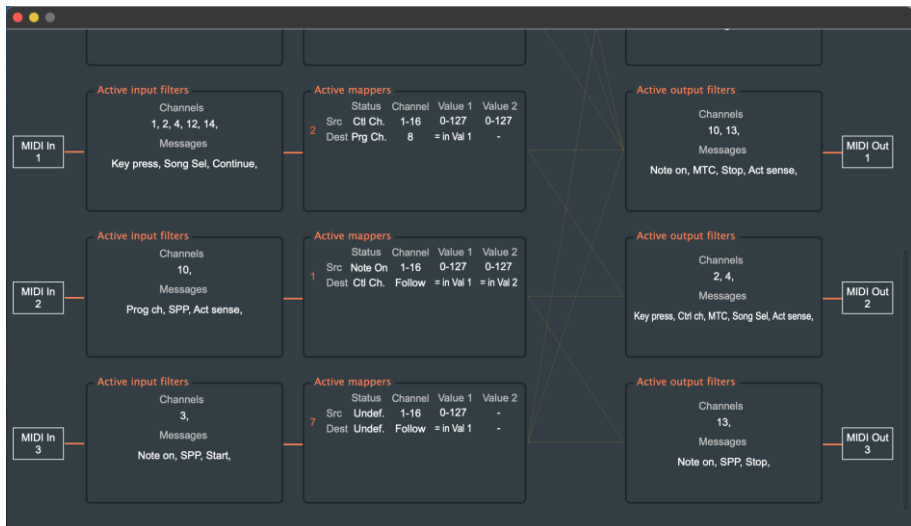


- セットアップする前に、ソフトウェアインターフェイスの右下隅にあるプリセット番号を選択してから、パラメータを設定してください。すべての設定変更は、このプリセットに自動的に保存されます。プリセットは、多機能ボタンまたは割り当て可能な MIDI メッセージで切り替えることができます(詳細については、[プリセット設定]を参照してください)。プリセットを切り替えると、それに応じてインターフェイスの LED が点滅します(プリセット 1 の場合は 1 回点滅、プリセット 2 の場合は 2 回点滅など)。
- 設定する前に、ソフトウェアインターフェイスの右下隅にあるプリセット番号を選択してから、パラメータを設定してください。すべての設定変更は、このプリセットに自動的に保存されます。プリセットは、多機能ボタンまたは割り当て可能な MIDI メッセージで切り替えることができます(詳細については、[プリセット設定]を参照してください)。プリセットを切り替えると、それに応じてインターフェイスの LED が点滅します(LED は プリセット 1 で 1 回点滅

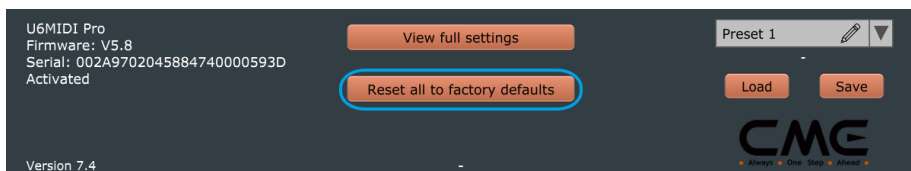
し、プリセット 2 では 2 回点減します)。

- プリセット名の右側にある[鉛筆アイコン]をクリックして、プリセット名をカスタマイズします。プリセットの名前の長さは、英語と数字で 16 文字に制限されています。
 - **[保存]** ボタンをクリックして、プリセットをコンピューターとして保存します file.
 - **[ロード]** ボタンをクリックすると、コンピューターから現在のプリセットにプリセットファイルがロードされます。
- **[すべての設定を表示]:**このボタンは、全体的な設定ウィンドウを開き、現在のデバイスの各ポートのフィルター、マップパー、およびルーターの設定を 1 つの便利な概要で表示します。





- **[すべてを工場出荷時のデフォルトにリセット]:** このボタンは、ソフトウェアによって接続および選択されたデバイス(フィルター、マッパー、ルーターを含む)のすべての設定を元の工場出荷時のデフォルトに戻します。

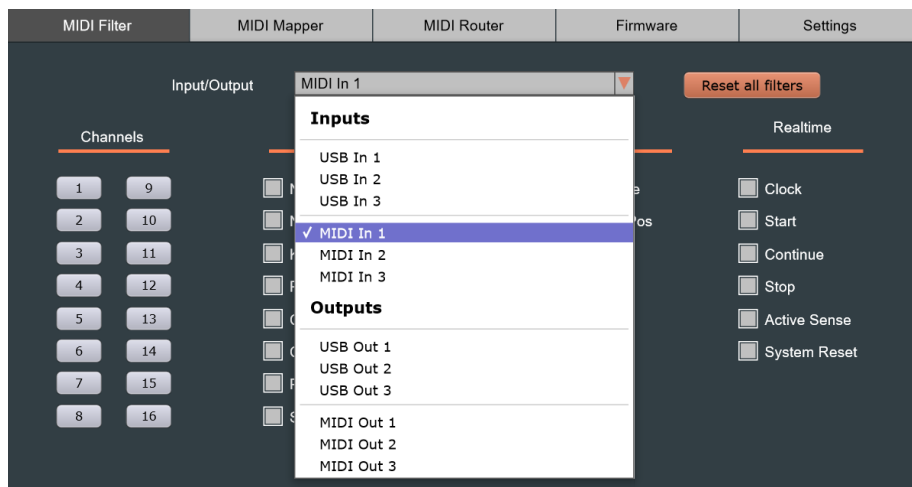


MIDI フィルター

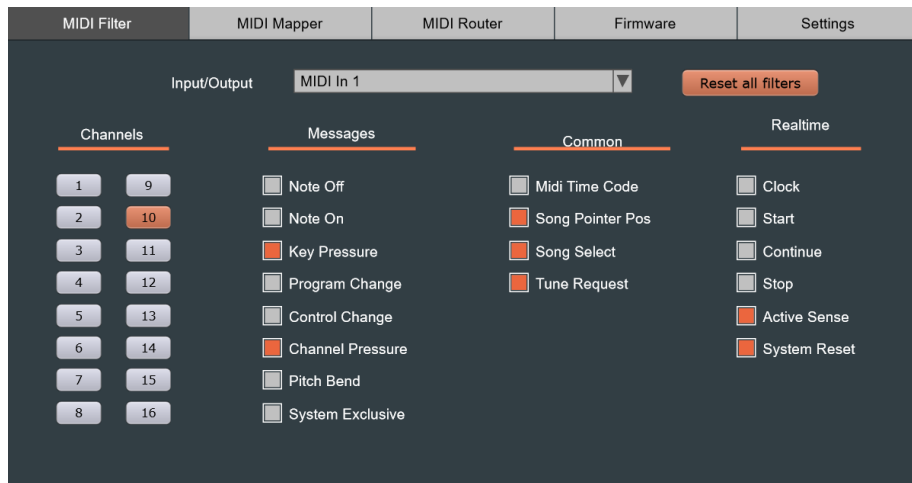
MIDI フィルターは、選択した入力ポートまたは出力ポートの特定のタイプの MIDI メッセージが通過しなくなったのをブロックするために使用されます。

● フィルターを使用する:

- まず、画面上部の[入力/出力]ドロップダウンウィンドウで設定する必要のある入力ポートまたは出力ポートを選択します。入力ポートと出力ポートを下図に示します。



- 下のボタンまたはチェックボックスをクリックして、ブロックする必要がある MIDI チャンネルまたは メッセージタイプを選択します。MIDI チャンネルを選択すると、この MIDI チャンネルのすべてのメッセージがフィルタリングされます。特定のメッセージタイプを選択すると、そのメッセージタイプはすべての MIDI チャンネルでフィルタリングされます。



- **[すべてのフィルターをリセット]:** このボタンは、すべてのポートのフィルター設定を初期状態にリセットし、どのチャンネルでもフィルターがアクティブになっていない状態にリセットします。

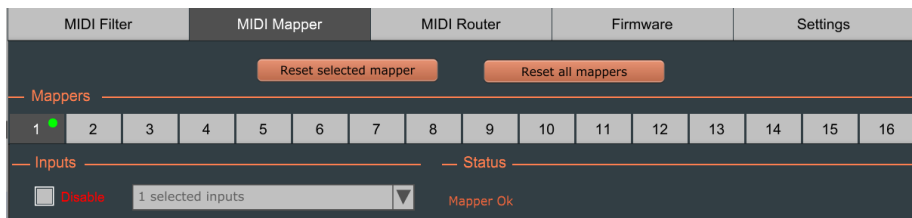
MIDI マッパー

***注: UxMIDI ツールソフトウェアバージョン 5.8(またはそれ以降)およびファームウェアバージョン 5.4(またはそれ以降)で新しい MIDI マッパー機能が追加されました。**

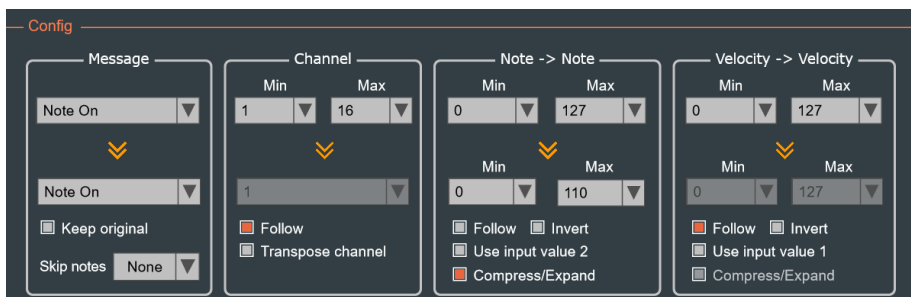
「MIDI Mapper」ページでは、接続および選択したデバイスの入力データを再マッピングして、ユーザーが定義したカスタムルールに従って出力できるようにすることができます。たとえば、演奏したノートを手動コントローラーメッセージや別の MIDI メッセージに再

マッピングできます。これに加えて、データ範囲と MIDI チャンネルを設定したり、データを逆に出力したりすることもできます。

- **[選択したマッパーをリセット]:** このボタンは、現在選択されているシングルマッパーと、接続して選択した CME USB MIDI デバイスに保存されているマッパー設定をデフォルトの状態にリセットし、新しいセットアップを開始できるようにします。
- **[すべてのマッパーをリセット]:** このボタンは、MIDI マッパーページのすべての設定パラメーターと、接続して選択した CME USB MIDI デバイスに保存されているマッパー設定をデフォルトの状態にリセットします。



- **[マッパー]:**これらの 16 個のボタンは、自由に設定できる 16 の独立したマッピングに対応しており、複雑なマッピングシナリオを定義できます。
 - マッピングが構成されている場合、ボタンは逆の色で表示されます。
 - 設定済みで有効なマッピングの場合、ボタンの右上隅に緑色の点が表示されます。
- **[入力]:**マッピングする入力ポートを選択します。
 - **[無効]:**現在のマッピングを無効にします。
 - **[USB 入力]:**USB ポートから入力するデータを設定します。
 - **[MIDI 入力]:**MIDI ポートから入力するデータを設定します。
 - **[WIDICore BLE In](U4MIDI WC のみ):**オプションの WIDICore Bluetooth MIDI ポートからのデータ入力を設定します。
- **[Config]:**このエリアは、ソース MIDI データとユーザー定義の出力データ(マッピング後)を設定するために使用されます。上の行は入力用のソースデータを設定し、下の行はマッピング後の出力用の新しいデータを設定します。



- マウスカーソルを各キー領域に移動すると、機能の説明が表示されます。
- 設定されたパラメータが正しくない場合は、エラーの原因を示すテキストが機能領域の下に表示されます。
- ◆ **[メッセージ]:**上部でマッピングするソース MIDI メッセージタイプを選択し、下部でマッピングする ターゲット MIDI メッセージタイプを選択します。別の[メッセージ]タイプを選択すると、右側の他のデータエリアのタイトルもそれに応じて変更されます。

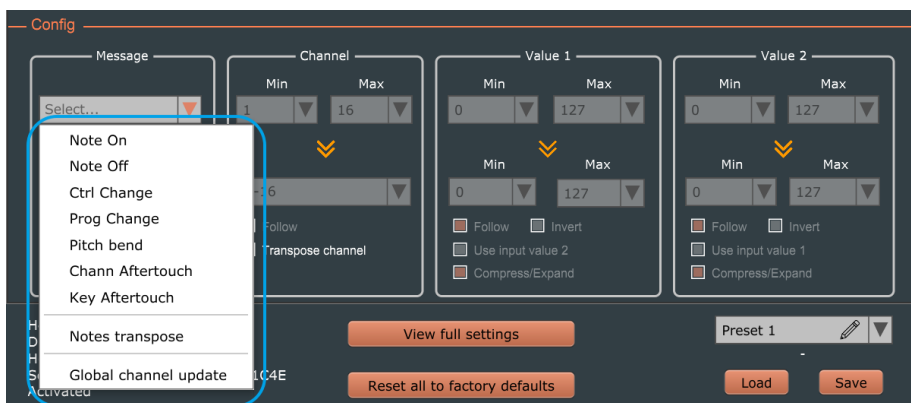


表 1: ソース データ タイプ

メッセージ	チャンネル	値 1	値 2
に関する注意事項	チャンネル	手記#	速度
ノートオフ	チャンネル	手記#	速度
Ctrl 変更	チャンネル	コントロール#	量
プログレッシブ・チェンジ	チャンネル	パッチ#	使用されません
ピッチベンド	チャンネル	ベンド LSB	ベンド MSB
チャン・アフタータッチ	チャンネル	圧力	使用されません
キーアフタータッチ	チャンネル	手記#	圧力
ノートの移調	チャンネル	Note->転置	速度
グローバルチャンネル更新	チャンネル	該当なし	該当なし

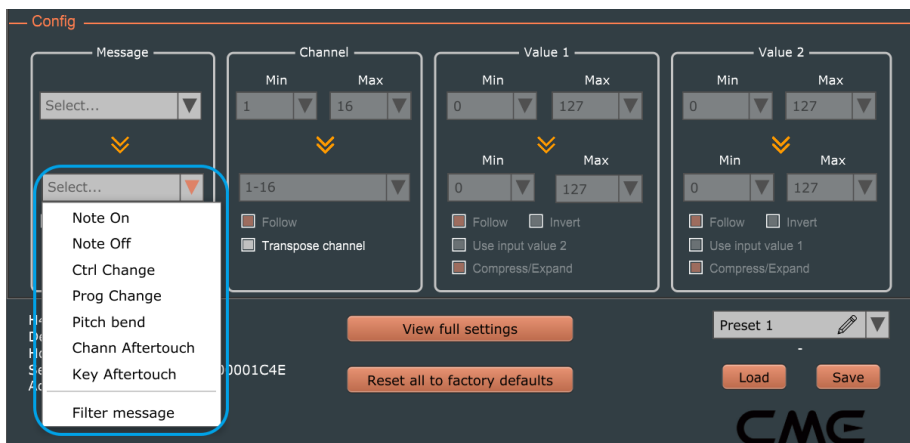


表 2: マッピング後の新しいデータ型

に関する注意事項	ノートオープン メッセージ
ノートオフ	ノートオフ メッセージ
Ctrl 変更	制御変更 メッセージ

プログレッシブ・チェンジ	音色変更 メッセージ
ピッチベンド	ピッチベンディングホイール メッセージ
チャン・アフタータッチ	チャンネル のアフタータッチ メッセージ
キーアフタータッチ	タッチ後のキーボード メッセージ
メッセージのフィルタリング	フィルタリングするメッセージ

- **[オリジナルを保持]:**このオプションを選択すると、マッピングされた MIDI メッセージと同時にオリジナル MIDI メッセージが送信されます。元の MIDI 情報は保持され、再度マッピングに使用することはできませんのでご注意ください。
- **[ノートをスキップ]:** ランダムにノートをスキップします。ドロップダウンオプションをクリックして、指定したノート範囲内でランダムにフィルタリングされるノートの割合を設定します。
- ♦ **[チャンネル]:**ソース MIDI チャンネルと宛先 MIDI チャンネル、範囲 1～16 を選択します。
- **[最小]/[最大]:**最小チャンネル値/最大チャンネル値の範囲を設定し、同じ値に設定できます。
- **[フォロー]:** このオプションを選択すると、出力値はソース値と同じ(フォロー)になり、再マッピングされません。
- **[チャンネルの移調]:** このオプションを選択すると、選択したチャンネルの値を増減できます。

- ◆ **[値 1]:**選択した[メッセージ]タイプ(表 2 を参照)に基づい

て、このデータは 0～127 の範囲の Note # / Control# /

Patch # / Bend LSB / Pressure / Transpose にすることができます(表 1 を参照)。

- **[最小]/[最大]:**最小値/最大値を設定して範囲を作成するか、特定の値に対する正確な応答のために同じ値に設定します。
- **[フォロー]:** このオプションを選択すると、出力値はソース値と同じ(フォロー)になり、再マッピングされません。
- **[反転]:**選択すると、データ範囲が逆の順序で実行されます。
- **[入力値 2 を使用]:**選択すると、入力値 2 から出力値 1 が取得されます。
- **[圧縮/拡張]:**値を圧縮または拡張します。選択すると、ソース値の範囲は、ターゲット値の範囲に比例して圧縮または拡張されます。

- ◆ **[値 2]:**選択した[メッセージ]タイプ(表 2 を参照)に基づい

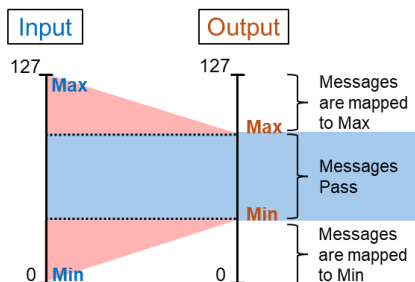
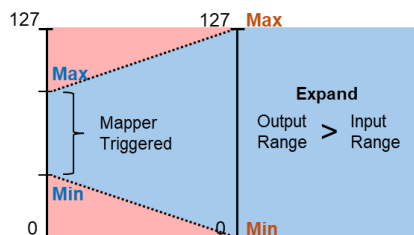
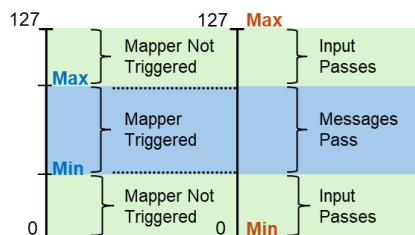
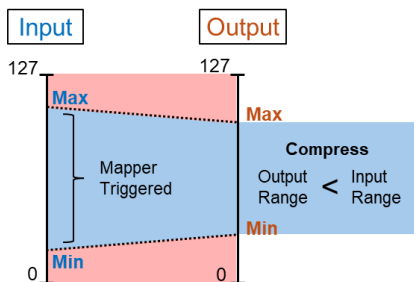
て、このデータは 0～127 の範囲の速度/量/未使用/曲げ

MSB / 圧力にすることができます(表 1 を参照)。

- **[最小]/[最大]:**最小値/最大値を設定して範囲を作成するか、特定の値に対する正確な応答のために同じ値に設定します。
- **[フォロー]:** このオプションを選択すると、出力値はソ

ース値と同じ(フォロー)になり、再マッピングされません。

- **[反転]:**選択すると、データは逆の順序で出力されます。
- **[入力値 1 を使用]:**選択すると、入力値 1 から出力値 2 が取得されます。
- **[圧縮/拡張]:**値を圧縮または拡張します。選択すると、ソース値の範囲は、ターゲット値の範囲に比例して圧縮または拡張されます。

Compress / Expand **Disabled**Compress / Expand **Enabled**

※ [圧縮/拡張] オプションに関する注意事項: マッパーの対象値範

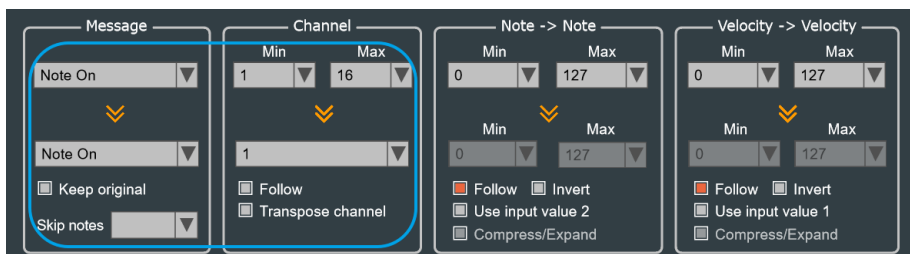
囲が元データ範囲と異なる場合に、設定値を対象値範囲に圧縮または拡張できるオプション。

マッパーが設定した出力範囲が入力範囲より小さい場合、例えば 0-40 を 10-30 にマッピングする場合、[Compress/Expand] オプションを無効にすると、それに応じて 10-30 のみがマッパーを介して出力され、0-9 は 10 にマッピングされ、31-40 は 30 にマッピングされます。[圧縮/拡張] オプションを有効にすると、圧縮アルゴリズムは設定された範囲全体に対して機能し、0 と 1 は 10 にマップされ、2 と 3 は 11 にマップされます...39 と 40 が 30 にマップされるまで、この作業が繰り返されます。

マッパー設定の出力範囲が入力範囲より大きい場合、例えば 10-30 を 0-40 にマッピングする場合、[圧縮/拡張] オプションを無効にすると、0-10 と 30-40 はマッパーを経由せずに直接通過し、10-30 はそれに応じてマッパーを経由して出力されます。[圧縮/拡張] オプションを有効にすると、拡張アルゴリズムは設定された範囲全体に対して機能し、10 は 0 にマップされ、11 は 2 にマップされます...30 が 40 にマップされるまで、というように続きます。

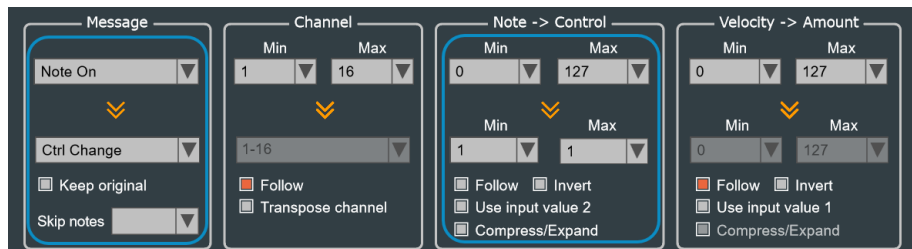
● マッピングの例:

- 任意のチャンネル入力すべての[Note On]をチャンネル 1 からの出力にマッピングします。



- すべての[Note On]を[Ctrl Change]の CC#1 にマッピングし

ます。



MIDI ルーター

MIDI ルーターは、CME USB MIDI デバイスの MIDI メッセージの信号フローを表示および構成するために使用されます。

● 配線の方向を変更します。

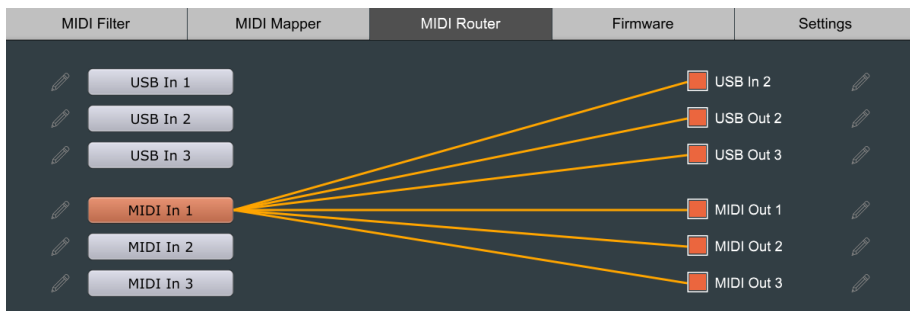
- まず、左側の入力ポートボタンをクリックすると、ソフトウェアは接続を使用してポートの信号方向(存在する場合)を表示します。
- 右側のチェックボックスをクリックして、ポートの信号方向を変更するために必要な 1 つ以上のチェックボックスを選択/キャンセルします。同時に、ソフトウェアは接続を使用してプロンプトを表示します。現在選択されているポート接続が強調表示され、残りの接続は淡色表示されます。



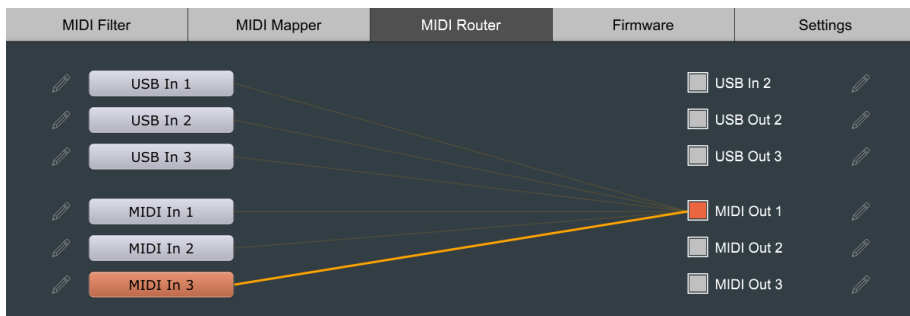
- ポートの横にあるペンアイコンをクリックして、このソフトウェアに表示されるポートの名前をカスタマイズします (ただし、この名前は DAW ソフトウェアに表示されるポート名には影響しません)。

● U6MIDI Pro での例:

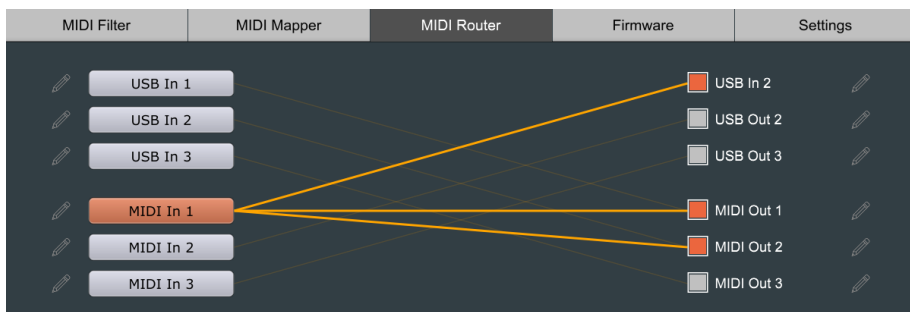
MIDI スプリット/スルー



MIDI マージ

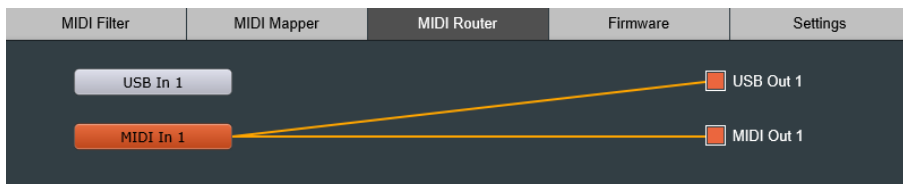


MIDI ルーター - 詳細設定



● U2MIDI Pro での例:

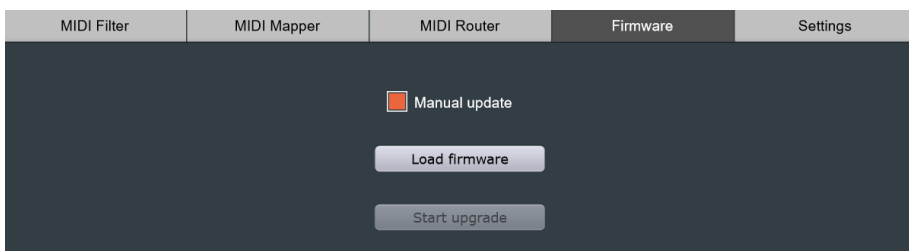
MIDI スプリット/スルー



- **[ルーターのリセット]:**このボタンをクリックすると、現在のページのすべてのルーター設定がデフォルトの工場出荷時の設定にリセットされます。
- **[ルーターのクリア]:**このボタンをクリックすると、現在プリセットされているすべてのルーター接続設定をクリアします。つまり、ルーティング設定はありません。

ファームウェア

ソフトウェアを自動的に更新できない場合は、このページで手動で更新できます。 www.cme-pro.com/support/Web ページにアクセスし、CME テクニカル サポートに連絡して最新のファームウェアファイルを手に入れてください。ソフトウェアで[手動更新]を選択し、[ファームウェアの読み込み]ボタンをクリックしてダウンロードしたファームウェアを選択します file コンピューター上で、[アップグレードの開始]をクリックして更新を開始します。



設定

[設定]ページは、ソフトウェアによってセットアップおよび操作

する CMEUSB MIDI デバイスモデルとポートを選択するために使用されます。複数の CME USB MIDI デバイスが同時に接続されている場合は、ここでセットアップする製品とポートを選択してください。

- **[プリセット設定]:** [MIDI メッセージからのプリセット変更を有効にする]オプションを選択すると、ユーザーはノートオン、ノートオフ、コントローラー、またはプログラムチェンジ MIDI メッセージを割り当てて、プリセットをリモートで切り替えることができます。[メッセージを MIDI/USB 出力に転送する]オプションを選択すると、割り当てられた MIDI メッセージも MIDI 出力ポートに送信できるようになります。

The screenshot shows the 'Settings' tab of the CME USB MIDI software. It features a 'MIDI Settings' section with three dropdown menus: 'Product' (set to '#1 CME U6MIDI Pro'), 'MIDI Input' (set to 'U6MIDI Pro'), and 'MIDI Output' (set to 'U6MIDI Pro'). Below this is a 'Presets' button. The 'Preset Settings' section includes a checkbox for 'Enable changing preset from MIDI messages', three dropdown menus for 'Message' (set to 'Select...'), 'Channel', and 'Prog number', and a checkbox for 'Forward message to MIDI/USB outputs'.

- **[ボタン]:** ユーザーは、現在のプリセットを変更するようにボタンを設定するか、オールノートオフメッセージを送信するかを選択できます。

Presets Button

Button Settings (Short push)

- ☐ Change current preset
- ☐ Send Panic (All Notes Off)

*注:ソフトウェアのバージョンは継続的に更新されるため、上記のグラフィカルインターフェイスは参照用であり、ソフトウェアの実際の表示を参照してください。

よくある質問

- **CME USB MIDI デバイスがコンピュータに認識されません。**
 - **Windows 10/11 の場合:**
コンピュータがしばらくアイドル状態（スリープモードやその他の省電力モード）だった場合、ソフトウェアが初回起動時に CME USB MIDI インターフェイスを検出しないことがあります。ただし、ソフトウェアを再起動すると通常は問題が解決します。
 - **Windows でのマルチクライアント:**
CME ソフトウェア以外の音楽アプリケーションが既に USB MIDI ポートを使用しています。Windows はマルチクライアント MIDI をサポートしていないため、CME ソフトウェアへのアクセスがブロックされる可能性があります。
 - **MacOS でのデバイス名の変更:**

CME USB MIDI デバイスの名前を変更した場合、CME ソフトウェアは接続を確立するために元のデバイス名を必要とするため、デバイスを認識しない可能性があります。

- **MacOS での MIDI Studio 経由のルーティング：**
macOS MIDI Studio で CME USB MID インターフェースを手動でルーティングした場合（例：IAC 経由、またはその他の設定経由）、インターフェースの最初の USB ポートが占有される可能性があります。CME ソフトウェアは最初のポートが利用可能であることを前提としているため、競合が発生する可能性があります。
- **USB ケーブルを確認してください。**
通信が中断されないように、高品質の USB（データ）ケーブルと信頼性の高い USB ハブを使用してください。

接触

E メール: support@cme-pro.com

ウェブサイト: www.cme-pro.com